

令和4年度学校運営協議会 資料

学校関係者評価まとめと改善策

1 アンケート結果の集計

児童、保護者の皆様に実施したアンケートを以下の通り数値化しました。

	評 価 項 目	総合	児 童	保 護 者
1	毎月の生活のめあてを守って生活している。	A	4.1	4.4
2	朝ごはんをしっかり食べている。	A	4.7	4.7
3	あいさつがきちんとできる。	A	4.2	4.6
4	けがや病気に気を付けたり、進んで運動したりして元気に生活している。	A	4.5	4.4
5	時刻を守って行動している。	A	4.1	4.1
6	学習にやる気をもって取り組んでいる。	B	4.3	3.7
7	授業で習ったことが分かる。	A	4.3	4.0
8	授業では、自分の考えのよさや友達の考えのよさが分かる。	B	4.3	3.9
9	先生は相談すると話を聞いてくれる。	A	4.7	4.1
10	学校は楽しい。	A	4.4	4.6
11	優しい気持ちを持ち、友達と仲良く生活している。	A	4.6	4.5
12	やるべきことは、粘り強く最後まで取り組んでいる。	A	4.2	4.0
13	将来の夢や希望がある。(夢や希望について子供と話している。)	A	4.5	4.0
14	自分にはよいところがある。(子供によいところを伝えている。)	A	4.4	4.5
15	タブレットを楽しく使うことができる。また、目的に合わせて使うことができる。	B	4.7	3.8
16	学校は便りやホームページ、その他の方法で情報をよく提供している。	A		4.1

(そう思う5点、大体そう思う4点、あまり思わない2点、思わない1点、としての平均値で数値化しました。 総合評価 A:4.0以上 B:4.0未満2.0以上 C:2.0以下)

2 取り組み状況と今後の改善策

〈やさしさいっぱい〉

- 「9 先生は、相談すると話を聞いてくれる。」については、肯定的な回答が非常に多かった。この結果は、教師が一人一人を大切にし、子供一人一人のよさに気付かせ、自分らしさを発揮できるよう支援、指導していることの表れであると考えられる。そして、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、民生児童委員との連携も効果をあげていると考える。児童の抱える課題を見極め、児童も保護者も安心して相談できる支援体制の構築を図っていく。一人一人に寄り添う、温かく積極的な生徒指導を教育活動の土台にして、生徒指導を一層充実させていく。
- 一方で、「10 学校は楽しい。」「13 将来の夢や希望がある。」では、否定的な回答をした児童が10%いる。昨年度は、コロナ禍の影響で交流活動を控えていた。本年度は、感染対策を講じてできる範囲の交流活動を進めてきた。異学年集団で関わる楽しさや自分のよさ・可能性を感じることができる取り組みを考えていきたい。

〈やる気いっぱい〉

- 「15 タブレットを楽しく使うことができる。また、目的に合わせて使うことができる。」は、80%以上の児童が肯定的に捉えている。一方で、保護者からの評価は、児童と比較するとあまり高くない評価である。活用している実態を知らないと思われるので、日常的に活用を進め、ブログ、

参観会などで活用していることを知ってもらう必要がある。今後、非常時や学級閉鎖に伴う対応として持ち帰る場面も想定される。家庭でもタブレット端末を使って課題の続きに取り組んだり、授業の振り返りに取り組んだりできるように少しずつ、活用していく必要がある。また、保護者アンケート自由記述を見ると、さくら連絡網や HP からの情報を望む声が多いことがうかがえる。ブログの更新の頻度、学年便り等のおしらせをさくら連絡網で発信するなど、システム整備を進めていきたい。

- 「項目6～12」では、「あてはまる」と前向きに振り返りができている児童が、約半数ほどである。すなわち、学習面に不安を感じていたり、意欲が見いだせずにいたりする児童が少なからずいることがうかがえる。昨年度も同じ課題が挙げられ、R4年度は「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善に取り組んできた。また、キャリア教育の視点から、今、学んでいることと自分の将来や社会とのつながりを実感できる活動を取り入れながら、校内研修を進めてきた。本校の児童の実態をつかみ、発達段階に応じた「つきたい力」を押さえ、自分らしさを輝かせる子の育成に努めていきたい。
- コミュニティスクールにおける人材活用を効果的に取り入れることで、多くの目で児童を見守ることができた。CS ボランティア「つばめ応援団」では、2・3年生町探検の引率補助、3年生書き初めの補助、5年家庭科のミシン指導の補助など、熱心に教育活動に参画していただき、戸惑っている児童への声掛けや支援ができた。

〈元気いっぱいプラン〉

- ほとんどの項目において、80%程度の保護者が「あてはまる」「ややあてはまる」と肯定的に受けとめている。コロナ禍での運動会や風の子記録会、部活の在り方について、検討を進めてきた。保護者からの一定の理解を得られていると捉え、心と体を整える教育活動を進めていきたい。
- 「4 けがや病気に気を付けたり、進んで運動したりして元気に生活している。」では、体育授業・行事の充実により、健康的な生活を送ることができていると受け止めている。今後も、目的を明確にし、児童が成長を自覚できるようなあり方を考えていきたい。
- 「3 あいさつがきちんとできる。」では、児童の自己評価は高い。しかし、実態としては相手意識をもってあいさつができる児童は少ない。自分から先にあいさつができたり、相手の目を見てあいさつができたりする姿をさらに育てていきたい。お互いの心が通い合うあいさつこそ学習環境の一部ととらえ、学びの場としてふさわしい温かい環境を整えていきたい。

3 保護者アンケートへの回答

- 一人一台タブレットが整備されましたが、学校では効果的に使えているのか、教えていただきたいです。
→「Google chrome」を学習活動に取り入れて、情報モラルの啓発にも努めているところです。来年度も引き続き、参観会やブログ等で取り組みを紹介していきます。必要に応じて週末に持ち帰って課題に取り組む場を設けたり、出席停止や学級閉鎖の期間中に持ち帰ったりすることも検討しています。また、タブレットの使用に関しては、「タブレット端末活用のルール」を守って使用していく事を繰り返し指導していきます。
- 学校のホームページのブログに偏りを感じます。行事に限らず、日常の学校生活の様子を取り上げてもらえると嬉しいです。
→ブログは、不特定多数の方が見る事ができるため、写真掲載、載せられる情報等については慎重に対応しています。授業や学校生活の様子をなるべく早く紹介できるよう努めていますが遅くなってしまい申し訳ありません。定期的にお伝えできるようシステムの整備を進め、発信していきます。また、12月からホームページがリニューアルされましたので、ぜひご覧ください。

4 その他

- コロナで行事が実施しにくい中でも参観会やわくわくコンサートなど開催いただき、ありがとうございます。子供達の成長をみることができ感動しました。消毒や学年ごとの入れ替えを徹底して下さい、ありがとうございました。
- 入学当初はまだ幼稚園と違う場所での生活、学ぶことに不安を感じていた様子でした。担任の先生からの声かけや対応のおかげで少しずつ慣れることが出来ました。こどもの状態を見て時間をかけて丁寧に関係を築いてくださってありがとうございます。こどもが一年生の間、目標を持ち続け達成しようと頑張る姿を見ることが出来、とても嬉しく思います。
- 「学校が楽しい」とよく言っています。様々な学習に意欲的に取り組んでいるようで、うれしく思います。また、学校のなかだけではなく、校外学習は、子供達の見聞が広まってとてもいい事だと思います。
- 悩み事があると真剣に聞いてくれる友達がいます。気持ちに寄り添ってくれるので、とてもありがたいです。

アンケートの記述欄には、この他多くの励ましもいただきました。保護者の皆様が児童の表れを通して評価してくださったと受け止め、今後もより充実した教育活動を行うことができるよう努めていきたいと思えます。

5 学校関係者評価を受けて

学校関係者評価を基に、以下の点について改善を図る。

- ① 「校内生徒指導・いじめ・発達委員会」や「就学支援委員会」の機能を充実させ、児童の抱える課題を見極め、児童も保護者も安心して相談できる支援体制の構築を図っていく。浅間小学校「いじめ防止等のための基本方針」の見直しと確認を行う。いじめ未然防止及び早期発見に向けた取り組みを、全職員が連携して個に応じた対応を行っていく。
- ② 「Google chrome」を効果的に学習活動に取り入れていくとともに、情報モラルの啓発にも努めていく。来年度も引き続き、参観会やブログ等で取り組みを紹介していく。必要に応じて週末に持ち帰って、課題に取り組む場を設けたり、出席停止や学級閉鎖の期間中に持ち帰ったりすることも検討していく。また、タブレットの使用に関しては、「タブレット端末活用のルール」を守って使用していく事を繰り返し指導していく。
- ③ コミュニティスクールにおける人材活用の様子を「コミュニティ・スクールだより」やブログ等で発信していく。活動の様子を多くの人に知ってもらうことで、授業支援を進めていく。